NEWS LETTER

No.37
2026.10
AUTUMN

TOPICS 01

就任のご挨拶

IKEDA MEGUMI

池田めぐみ 理事

日頃より、本学のダイバーシティ推進の取組にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。このたび、ダイバーシティ推進室長に就任いたしました。

私はこれまで、アスリートとして、また現在もさまざまな立場でスポーツに関わってきました。その中で、異なる文化や価値観を持つ多くの人々と出会い、それぞれの個性や強みを生かしながら、ともに目標に向かう経験を重ねてきました。そこで学んだのは、一人ひとりを尊重し、それぞれが持つ力を発揮できる環境をつくることの大切さです。

大学もまた、多様な背景や価値観を持つ人々が集い、学び、新しいものを生み出す場所です。これまで本学が積み重ねてきた取組を大切にしながら、一人ひとりの個性や強みが、新たな発想や挑戦につながる環境をつくっていきたいと考えています。多様な人と力がつながり、新しい価値や未来を生み出す山形大学を、皆さまとともにつくってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

KATSUMATA TERUMASA

勝又栄政 准教授

この度、ダイバーシティ推進室副室長に就任いたしました、勝又栄政です。

私はこれまで、就労移行支援員として障がいのある方々の就労や社会参加に携わるとともに、家族社会学やジェンダー・セクシュアリティ研究の観点から、性的マイノリティをめぐる社会の課題について研究してきました。社会や制度のあり方は、一人ひとりの生きやすさや持っている力を発揮できるかどうかに大きな影響を与えます。だからこそ、多様な経験や価値観、背景をもつ人々が集う大学において、誰もが安心して過ごし、それぞれの力を発揮できる環境や制度を整えていくことが重要だと考えています。ダイバーシティ推進室では、学生・教職員の方々の困りごとや必要な取り組みに対する意見を聞き取り、多くの方々と対話を重ねながら、それらを環境や制度に反映していくことを大切にしたいと思います。

一人ひとりがその人らしく学び、働き、力を発揮できる環境づくりに少しでも貢献できるよう尽力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

TOPICS 02

山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナー

「『誰一人取り残さない』社会に向けて、地域・大学ができること～LGBTQ＋・多様な性の視点から～」及びフェスタを開催しました！

今年度は6月22日（月）にオンライン開催（後日配信あり）し、勝又栄政准教授が講演しました。事前申込は180人超をいただき、当日も約100人に参加いただきました。

講演の中で、今の世の中が性別二元論でできた社会であること、その社会（＝普通）から取りこぼされた人々がどのような生活をし、どのようなことに障壁を感じるのか、実例の一つとして聞いてほしいと前置きがあり、講師の人生における体験と、当事者だけではなくその家族を支援するという観点から現在の研究の道を進んできたことが話されました。また、SDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会のために私たちができることとして、国や組織だけではなく、個人の小さなことであっても相手に寄り添った行動からできることが紹介されました。

終了後は、「当事者の方にこれまでの人生でひとりとも関わったことがないのは、社会が受け入れていないこれまでの風潮があり、話せないことの表れなのかなと感じた」、「『世間のLGBTQ＋に対する態度、及びそれがLGBT当事者にはどう見える。だから、「あえて意識して行動することが必要」』という説明は、すごく分かりやすく、今回のセミナーの意義を再認識できた。これは今後、『なぜ学ぶ必要があるのか？』という時に広く広まってほしい考え方だと思う」等の声が寄せられ、大変有意義な機会となりました。

チラシ

TOPICS 03

体験談

育児

これまでに寄せられた体験談を紹介します。

妊娠から出産、その後の子育てでやってよかったことは？

・育休中から夫に子どもを任せる。育休明けも任せ続けられる
・必要だけど長期間使用しないものはレンタルがよかった
・眠れるときに眠る

出産・育児に関する制度等の利用を考えている人に向けたアドバイスがあればどうぞ

・男性であってもできるだけ長く取得できれば今後の人生にもプラスになると思う
・為せば成る。1日1日の積み重ね。喉元過ぎれば熱さ忘れる。
・出産・育児に関する制度等は様々あり、より多くの情報を持っておくことが大事　等

体験談を募集しています

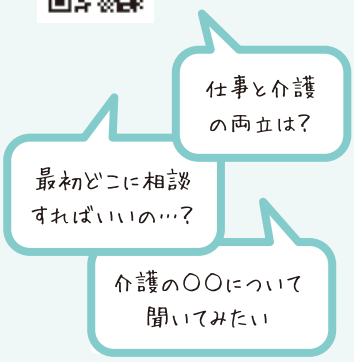
今後HPに掲載予定です

現在も募集しております。休暇等の取得有無や現在進行形・過去の感想、今更だけど言っておきたいこと等、個々の体験・感想を共有させていただきたく機会として是非お寄せください。

介護

聞いてみたい質問を募集しています

ぜひQRコードからお寄せください。



TOPICS 04

多様な性に関するガイドライン　改訂版の紹介

令和８年２月に本ガイドラインを改訂しました。このうち、本学内での「氏名・性別」について、どう対応ことになっているか見てましょう。

Ⅲ　大学としての対応、附属学校としての具体的な対応

1　通称名の使用・性別情報について

学生向け
当事者の申し出により、自認する性に基づく通称名を使用することができます。通称名を使用することで、学内で使用する次の名簿等は、通称名で表示されることになります。

例　学生証、CampusSquare（授業の受講者名簿）、WebClass

教職員向け
また、本学に提出する諸書類については、性別記載欄を未記入のまま提出することが可能な場合もあります。学生の場合は入学前でも差し支えありませんので、相談窓口に申し出てください。諸書類を通じて提供された性別情報については、本学から発行する書類において、必要とする場合以外には、性別を記載せず発行します。

学生向け
配布・提示する名簿については、性別欄を除外して配布・提示するよう、全学的に周知・徹底を図ります。

教職員向け
・会議等においても性別情報を含む個人情報については、慎重に取り扱うべき個人情報として管理します。
・諸書類を通じて提供された性別情報については、厳密な取扱いを行います。

本学では、学生・教職員どちらの場合も、性別を含めた名簿は必要とする場合以外は作成しておりません。また、氏名も、通称使用の申請があった場合には、申請された氏名を活用しています。

本学では、多様な性の在り方を尊重し、一人ひとりが安心して学び、働くことのできる環境づくりを進めています。通称名の使用や性別情報の取扱いにおいては、本人の意思を尊重し、プライバシー保護に十分配慮した対応をお願いします。

ダイバーシティ推進室からのお知らせ

『報告』・4月から国立女性教育会館（NWEC）が名称を変更し、男女共同参画機構（JGEPA）に改称しました。引き続き、同機関が所有する図書の貸出を中央図書館で行っています。ぜひご利用ください。
・令和８年6月22日～29日まで、男女共同参画及びダイバーシティフェスタ2026（パネル展示）を開催しました。

『ご案内』・「学長・キャンパス長・学部長と研究者との懇談会」を開催します。
各キャンパス13:00～14:00で開催
小白川キャンパス：12月 3日（木）／飯田キャンパス：12月16日（水）
米沢キャンパス：11月 5日（木）／鶴岡キャンパス：11月12日（木）
・次年度の「研究支援員制度」の利用者募集を開始します。詳しくはダイバーシティ推進室HPをご覧ください。「研究支援員制度　利用者の声」を更新しましたので、こちらも是非ご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室
〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12
023-628-4939
E-mail yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
URL https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/